

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400032
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム たるみず太陽の家
所在地	鹿児島県垂水市浜平2189番地6 (電話) 0994-32-5030
自己評価作成日	令和2年2月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年3月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型グループホームを目指すと共に園内の庭畑で花や野菜を作ったり外出など自然と触れ合いながら利用者様一人ひとりの日常生活を皆で支え日々を安心して楽しく過ごして頂ける様に支援し要介護状態の軽減と悪化防止に最善を尽くしています。
周囲の農家の方からも食材の提供して頂いたり、月1回のちゃのんけ(認知症カフェ)を開催し地域住民との繋がりを持ち認知症家族を持った方の相談を行っています。
看取りの実績もあり重度化や看護に関する勉強会・研修に参加し知識やレベルアップを図っており急変時には主治医から職員や家族に対して直接説明を受けることが可能で、夜間の往診・24時間医療連携が図れることから安心して生活できる環境で支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、同系列のグループホーム「太陽の家」が県内に複数あり、法人としても多くの関連組織を展開している。
- ・地域との交流を大切にしており、認知症カフェを毎月開催し、家族や地域住民と交流し認知症の理解や対応等、話し合える場になっている。小学校の運動会に参加したり、近隣から野菜の差し入れ等がある。
- ・家族会や便り等を通し、家族とのつながりを大切にして信頼関係を築くよう努めている。
- ・協力医療機関とは24時間医療連携体制が整っており、本人・家族の安心につながっている。看護師も在任しており、看取りの事例がある。職員は重度化や看取り介護の勉強会や研修会に参加して自己研鑽に励んでいる。
- ・職員間のチームワークが良く介護サービスに反映している。
- ・職員の資格取得を奨励し、福利厚生が整っており働きやすい環境である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は常に理念を意識し、一つ一つの言葉の意味を考え共有し利用者との日々の関わりの中で実践に繋げている。	理念は、地域密着型サービスを踏まえており、玄関やホールに掲げ、重要事項説明書にも記載している。理念を職員間で日常的に確認し、ケアを振り返り実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	利用者が地域との繋がりを保てる様に地域のお祭りに参加したり外出した先などでも交流を図っている	道の駅のイベントや地域の行事・小学校の運動会等に参加している。認知症カフェの「ちやのんけ」でのふれあいや地域住民からの相談を受けたりして地域との交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	「ちやのんけ」（認知症カフェ）を通じて地域の方やご家族など認知症で悩みを持つ方々との交流を行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設での取組、サービス内容の報告、利用者・職員状況を報告している。その中で意見や提案などを職員間で周知しサービスの向上に努めている	2ヶ月毎に開催し、利用者の状況・事業活動・行事・ヒヤリハット・事故報告・外部評価結果報告等を行い意見交換している。台風時の避難の対応や川がホームの近くを流れていることに対し協議している。外出支援や地域交流等、出され意見をサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市役所の担当者と連絡を密にとり報告や相談等行っている。また市役所へ直接出向き助言を頂いている。事業所の行事や運営推進会議にも参加頂くことで協力関係を築いている。	市の担当者とは介護保険申請や事故報告・感染症への取組み等、連携をとり相談や助言を得ている。市主催の研修会に参加し、地域包括支援センター職員との連携もとっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設置し2か月に1回職員間で利用者の状況を確認している。勉強会や研修会への参加を促し、職員全員で身体拘束による弊害など正しく理解することで身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止委員会を2ヶ月毎に開催し、指針の見直しを行いマニュアルもある。内部研修会の開催や外部研修会に参加している。日中は玄関の施錠はせずに、外出希望の時は散歩をしたり買い物に同行している。家族に連絡し家に寄ったりして、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員はマスコミ報道等の高齢者虐待に関する記事に関心を持ち高齢者虐待についての勉強会も行う様にしている。日常の中で入浴や排泄介助を行う際に確認も行っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会を行い、資料を基に権利擁護・成年後見人の制度を学んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明書・契約書を基に不安や疑問点についても理解して頂けるよう十分に説明を行い理解・納得を図っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日々のご家族の面会時や電話連絡の際に意見や要望など話しやすい環境づくりを目指している。また、家族会においてアンケートを実施し運営に反映させている</p>	<p>利用者からは日常の関わりの中で言葉かけの工夫をしたり、表情や仕草から思いを把握している。家族からは面会や家族会・アンケート実施等で思いを把握している。食事はどれぐらい摂っているか等の意見があり、対応して運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者・管理者は月に1回のミーティング以外でも日頃から意見や提案を聞くを設け申し送りなどを通じて意見交換を行い実践と反省を繰り返しながら今後に反映させている。</p>	<p>職員会議や日常的に意見や提案を聞いている。個人面談は必要時に対応している。代表者・管理者は意見や提案を言いやすい環境を整えている。入浴で必要時2人介助の要望やケアの対応について等が出され、運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者は管理者会議で決定したこと、グループ内の状況等を報告している。また職員皆、向上心を持って働ける様に個々の意見や給与水準、勤務状況などを把握し職場環境の整備に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は管理者、職員一人一人に応じた外部・内部研修をうける機会を確保し研修への参加や資格取得をすすめている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域リハビリテーション活動支援事業の介護事業所職員向け講習会への参加を通して同業者との交流を図る機会を得ることでサービスの質を向上させていく取組を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>安心できる生活環境や信頼関係を築いていけるように努めて不安や寂しい思いが軽減できるように声掛けを行っています</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用を開始する段階で話しやすい雰囲気づくりを心掛けて要望や心配ごとなどを伺いながら信頼関係を築けるように努めています</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族の状況を確認し本人や家族のニーズに合ったサービスが受けられるように努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は介護をしているという一方的な考えは持たず一緒に生活)している者として関係を築ける様に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話、毎月の便り等で利用者の様子を家族に伝えていきます。病院受診の他、外出・外泊・面会など家族と過ごす時間も本人と共に支えていく関係を心がけている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	認知症カフェを行っており、知人・馴染みの人との交流が持てるよう支援している。また、お祭りやお花見など外出の機会も設けています	知人や友人等の訪問時はお茶をだして話せるように対応している。年賀状の取次ぎもしている。美容室は家族が付き添ったり、訪問美容師もいる。家族の協力を得て、買い物等に出かけ、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で会話を楽しみ、良好な関係が保てるよう座席の配置にも配慮するよう努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了しても状況を聞かせて頂いたりしてこれまでの関係性を大切にしながら相談・支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人と家族から要望や意向を伺い、困難な方は日々の言動や表情から意向を汲み取り、問題行動にならないよう関りを支援している。	本人の行動や表情から思いを把握し、言葉をかけて意向を聞いている。家族の面会時に懇談したり遠方の家族には電話で話している。得られた情報は記録し、ケアプランに活かすように職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ひとり一人の生活歴や馴染みの暮らし方、これまでの経過等を家族や本人から伺い、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ひとり一人の一日の過ごし方、心身状態、出来る事などの現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らせるよう、毎月スタッフでカンファレンスを行い、本人、家族、主治医、薬剤師等の意見も取り入れ、現状に応じた介護計画を作成している	毎月のカンファレンスでの意見や本人・家族の意向を聞いて担当者会議を開き、主治医・薬剤師の意見を入れて、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎で行い、状況の変化時は見直しして、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づき、工夫などを申し送りや毎月のカンファレンス等で意見や情報を出し、スタッフ間で共有しながら介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の状況、及びニーズに対応しながら柔軟な支援やサービスが提供出来るように努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市報などで地域資源を把握し、馴染みの行事に安心して参加でき豊かな暮らしが出来るよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は本人と家族の希望のかかりつけ医や、在宅医療を利用している。異常時は家族と医療機関に連絡し、適切な医療が受けられるよう支援している	かかりつけ医は、以前からの医療機関である。往診が月1~2回ある。受診は家族が同行している。看護師による健康管理も実施し、適切な医療を受けている。他科受診は家族の協力を得て支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の生活の関わりの中で得た情報、気づきを看護師、診療訪問看護師等に伝え、利用者が適切な介護・受診が受けられる様に支援している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は面会を行い利用者の状況把握に努め、安心して治療出来るよう家族・病院関係者との情報交換や相談を行っている 日頃から病院関係者との情報交換を行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化・看取りについて説明し利用者・ご家族の意向を確認している。重度化・終末期に伴い事業所で出来る事を説明し方針を共有し関係者と共に支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、入所時に本人や家族に説明して同意を得ている。状況の変化に伴い、主治医・管理者・看護師を交え、事業所でできることを説明し、特別養護老人ホームや医療機関の選択肢も伝え家族の意向を確認している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ヒヤリハットなどの記録を行い職員間で対策を話し合っている。急変・事故発生時の対策を随時話し合っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>行政、地域の消防署の指導を頂きながら避難訓練を実施し津波発生時の避難経路についても確認を行っている。運営推進会議でも地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回昼夜想定して、避難訓練を実施している。1回は消防署立ち合いで、もう1回は自主訓練である。避難経路・避難場所・緊急通報装置の確認を行っている。地域住民の参加や協力を呼びかけている。次年度は地震・水害の訓練を年2回計画している。備蓄は食料品や水等を3日分等、用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者様ひとり一人に合わせた声掛けを行う 特に入浴・排泄時の更衣等には誇りやプライバシーを損ねない様な声掛けを心掛けている</p>	<p>マニュアルを基に入浴・排泄介助は同性介助で行い、羞恥心に配慮している。居室に入る時はノック・声かけを、職員間の申し送り等の声の大きさは、利用者に聞こえないように配慮している。誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日頃から利用者様の思いや希望に添えるように心がけている利用者様に二者選択法など自己決定出来るように支援している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者様のペースを大切に、その日の体調も見ながら起床・レクリエーション・就寝時間など希望に添えるように支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>季節に合わせた服装、本人の好みを聞きながら、その人らしい身だしなみや、お洒落が続けられるよう支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地域の方に頂いたり菜園で作った野菜の下ごしらえを職員と一緒に作り料理をして頂いている。外食も行い食欲の無い方への興味・意欲へとつなげている。	職員が献立作成し、個々の嗜好を把握し、形態もきざみ・とろみ・普通食で対応している。行事食のおせち料理や敬老会・誕生日のケーキ等、楽しんでいる。テラスでお茶飲みや食事をして楽しんでいる。家族と外食に出かける利用者もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様ひとり一人の状態に応じた対応をし、食事、水分摂取量を記録し職員で共有している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行い、ひとり一人に合わせた介助を行っている。義歯等は夜間洗浄剤を使用し清潔保持に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ひとり一人の排泄パターンを把握しトイレの声掛け誘導等を行い介助し失敗を減らしていく事で布パンツを使用していけるように支援している。利尿剤を処方されている方には特に気を付け様子観察を行っている	排泄チェック表を活用し個々の時間のパターンを把握して、声かけしトイレへ誘導している。自由にトイレへ行く利用者もいる。ポータブルトイレ利用者もおり、排泄用品の適正な使用も考慮して、快適に排泄ができるよう自立に向けた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食事や乳製品、水分摂取に努め適度な運動を行い腸を刺激して予防・改善に努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ひとり一人の出来る事を把握し出来る事を増やしていける様にプライバシーに配慮しながら個々に応じた声掛け、支援を行っている	入浴は週に3回、午前中を予定しているが、希望に応じ柔軟に支援している。マニュアルがある。入浴を拒む利用者には時間を変えたり声かけに工夫している。柚子湯で楽しむこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日常生活の中で運動や日光浴など身体を動かし安眠出来るように努め日替わりで寝具交換を行い安心して気持ちよく休める様に支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬の際は氏名・日付・服薬するまでを確認し服薬介助者の記録も行っている。また、全職員がいつでも服薬情報の確認が出来る様にファイルを作成しており変更時は申し送りに記入し把握と情報共有に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活層や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事・レクリエーション・外出などを取り入れひとり一人に合わせた気分転換法を行い楽しく活気ある日々を送れる様支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	重度化が進んで行くなかで座位保持や外出の困難な方もいらっしゃるがひとり一人の状況に合わせてテラスへ出たり数分間でもホールで過ごして頂くなど希望に沿った支援を行えるように努めている	数人毎にコスモスや桜の見物にドライブで楽しんでいる。初詣・イチョウ見物・花見・地域の運動会等、家族の協力もあり遠方にも出かけている。重度化の利用者には外気浴で季節を感じてもらったり、外の空気に触れるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物が可能な入居者様とスーパー等に出かけ好みのおやつや果物等を選んで頂き自分で支払いが出来るように支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族の面会にきて頂いたり希望に応じて電話で会話されたりして自由に会話を楽しまれている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広々とした共同空間で会話を楽しまれたり、季節感を取り入れ居心地の良い生活が過ごせるよう配慮している。温度や湿度など毎日チェックし快適な空間作りを行っている	共用空間は広く、天井が高く、天窓からの採光が柔らかい。玄関が広く、おひなさまの手作りやちぎり絵等、季節感のある作品が飾ってある。空調管理が整っている。台所は対面式で利用者とも会話ができ家庭的である。ソファがあり、テラスがある。園庭は季節の花が咲き、居心地よく過ごせるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	居室で過ごされている時やホールで過ごされている時、気の合う仲間と会話ができるようテーブルやいすの配置を工夫している。利用者のペースで生活出来るよう配慮している		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室、寝室は自宅での様子などを本人を含め家族と相談しながら居心地良くなる様に配慮・工夫している	エアコン・ベッド・衣類掛け・押し入れが設置してある。家から持ち込まれた写真・時計・寝具類・ラジオ・加湿器・洋服かけ等が置かれている。家で過ごしているように居心地よく工夫されている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	建物内は、個々の「出来る事」や「分かり合えること」を一番に、安全に自立した生活が送れるように工夫している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない